



みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第13号 平成29年5月18日発行

三和地域の人口・世帯数
男 1,680人
女 1,760人
合計 3,440人
世帯数 1,706世帯
(平成29年4月末現在)

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

第3回総会を開催しました

4月15日、三和地域協議会の第3回総会を三和荘で開催しました。代議員総数72名のうち48名が出席（委任状が16通）いただき、平成28年度の事業報告・決算、および平成29年度の事業計画・予算案が承認されました。

今年度は、▽昨年初開催しご好評をいただいた「みわこどもまつり」の継続（5月21日（日）開催）▽三和音頭の音源作成▽自家用有償運送事業の準備委員会設立や地域自治についての自治会との連携▽移住者交流会の継続▽空き



会長あいさつ

家の発掘などに取り組んでいきます。また、平成31年度に開校予定の小中一貫校設置に向けた準備組織への委員派遣を行い、積極的に参画します。

会員である住民のみなさん、今年度も、三和地域協議会の活動への積極的なご参加、ご支援をよろしく願います。（事業計画は裏面に掲載しています）

このうち3班19人が三和地域を巡るツアーに参加し、地域の人たちとふれあう機会を体験しました。

午前10時半にマイクログラスで大原神社に到着した一行は、神社本殿で林秀俊宮司の説明を聞いた後、特別公開してくだ



大原神社 林宮司の説明

廣雲寺では、遅咲きの桜の風景を眺めながら、住職の母堂、村井眞佐子さんのお話を聞き、地元産野菜たっぷり



廣雲寺での昼食

今後、公立大学の授業として地域学習に取り組まれ、多くの学生が地域の皆さんとふれあう機会も増えてくることとなります。地域全体で暖かく迎え入れ、学生たちが有意義に学ぶことができるよう、応援したいものです。



旭さん、三崎さん、沢田さんの話を聞く生徒たち

公立大学新入生が三和を巡る ―地域資源や人と交流した一日―

この春、福知山公立大学に入学した新入生146人が、22班に分かれて地域を巡る「フレッシュツアー2017」が、4月7日に市内の各所で実施されました。

さった神社の秘宝「蛇のひげ」に興味深げに見入っていました。続いて府指定民俗文化財の「大原の産屋」を見学し、昼食会場である芦洲の廣雲寺に向かいました。

ぶりのお弁当をいただきました。午後は農業振興センターに移動し、3班に分かれてみわファームの旭敏さん、三崎農園の三崎要さん、農家民宿「ふるまや」の沢田さやかさんの体験談などを聞いて、三和地域の現状やこれからのについて学習をしました。



総会後、福知山公立大学の杉岡秀紀准教授に記念講演をしていただきました。

総会から傍聴くださった杉岡さんは、これからは自分たちの地域のことを地元住民である自分たちが考えて主導で動く必要がある、三和地域協議会のよ

「みんな」でつくる 地域の未来 ―フューチャーデザインと市民自治―

在や未来の政策について考えるときに、「現代」と将来世代の気持ちになつて意見を言う「仮想将来世代」に分けて話し合いを行うことで、より創造的な意見が出しあえるという



市民自治についてお話される杉岡さん

はまだまだありますが、いま暮らしている自分たちだけでなく、将来暮らす人達の立場にも立って考えることは、また違った発想が生まれる良いきっかけになるかも知れませんね。

初夏のぶらりハイキング 成満寺と影清稻荷神社めぐり

福知山観光協会三和支部では、今年もふれあいハイキングを開催します！今回は、「初夏のぶらりハイキング」と題して、菟原下の成満寺や影清稻荷神社、バンド地蔵を巡ります。普段はあまり歩くことのない三和の道、歩いてみませんか。



日時 平成29年6月3日(土) **雨天中止**
集合：午前9時
解散：午後3時頃
集合場所 三和荘
参加費 400円 **昼食は各自でご用意ください**
コース 約12km
(三和荘―成満寺―影清稻荷神社―バンド地蔵―昼食―三和荘)

事前申し込み制 定員に達し次第締め切らせていただきます。

「体が大きく、羽音の印象が強烈なために、猛猛な種類として扱われることが多いが、性質はきわめて温厚である。」

「オスは比較的行動的であるが、針が無いため刺すことはない。毒針を持つのはメスのみ」「個体を脅かしたりすると刺すことがあるが、たとえ刺されても重症に至ることは少ない。」（ウィキペディアより）

ウロウロしているから、たぶんオスかな。刺激しなければ問題ない。そう思っていたら、さっき刺さっていました。

しばらくすると、窓とスクリーンの間に入ってしまったようで、翌日には少しだけ羽音がしていました。今は静まり返っています。あの子は、まだあそこにいるのかな。

あ、くまんばちだ



事務局員 喜多 友香

コラムを書くように指令を受けてはや半月：あーでもないこーでもないともやもやしている間に、広報紙の締め切りが迫っていました。

焦りを感じないふりをしていたある日、事務局への来客。ブーンと低い音をたてて飛ぶ黒い影：クマバチです。

虫が苦手ですが、この時は、かないのですが、この時は、あ、くまんばちだ、と思っていました。子どもの頃からなじみがあるというか、このハチは刺さないやつだったので、記憶のどこかに残っていたようです。

でも、ちょっと気になるので、調べてみました。

平成29年度事業計画(抜粋)

全体事業

昨年実施した「きょうと北部演劇まつり」のように、三和地域全体の文化振興や地域振興に必要な事業を、様々な団体等と共同することも含め、取り組んでいきます。

さらに、昨年新たに取り組んで好評だった「みわこどもまつり」のほか、地域全体で取り組む「三和ふれあいフェスティバル」「みわ夏まつり」等、定着した行事を大切にしながら、新たに地域住民の知恵や元気を引き出せるような、取り組みを実施したいと考えています。

常任委員会

三和地域協議会の活動全体を考え執行していく機関として定期的に開催し、地域の求める課題に敏速かつ的確に対応できるよう努めます。また、行政機関や公立大学、各種団体との連携を密にし、効果的で効率的な事業運営をめざします。

地域活力部会

「みわこどもまつり」は今年度も継続して開催します。地域交流カフェ

「みわふれあいカフェ」は引き続き毎週金曜日に開催します。また、三和音頭については、新たな音源の作成を目指します。さらに、子育てや文化に関する講演会・交流会等を開催する予定です。

○みわこどもまつり

今年も5月に開催します。昨年の課題などを踏まえてパワーアップしたこどもまつりを作り上げます。

○みわふれあいカフェ

昨年12月から冬季休業していたみわふれあいカフェは、平成29年4月から再開。今年度も出張カフェはもちろん、月に1回程度のペースで歌声喫茶などの小さな催しも行う予定にしています。

○三和音頭の普及

現存の音源よりテンポアップした、新たな音源を制作します。三和地域の小中学校や各種団体・自治会等に音源を配布し、町内行事にも参加、三和音頭の普及に努めます。

○講演会・交流会等の開催

年明け頃の予定で、子育てや文化に関する学習や交流の機会を設けます。

生活基盤部会

福知山市の市バス再編実施計画が今年3月に策定されましたが、部会でも話し合ってきた住民要望が盛り込まれているかなど、その中身について点検します。そして、10月から予定される市バスの新ダイヤスタートに向けて、地域協議会で自家用有償運送事業を始めの方針で、部会としても、これまでの検討結果を生かし、事業の促進に尽くします。さらに、平成31年度の小中一貫校の開校もにらみながら、スクールバスを地域の足として有効活用できないか、保護者らとともに考えます。

また、平成28年度の活動目標に掲げて着手できなかった自治支援体制づくりを進めます。自治運営が難しくなっている小規模自治会が直面している課題などに対し、自治会などと共に対応策を考えます。

○外出支援へ公共交通の充実

・市バスの新ダイヤ点検と利便性の追究

・自家用有償運送事業の促進、応援
・市バスと有償運送の組み合わせ、有効活用

○自治機能の存続・発展を支援

・過疎化が激しく、伝統行事の継承や福祉面での支えあいも困難になっている小規模自治会との話し合い

・自治の仕組みづくりなど各自治会が情報を共有できる場の設定

・住民自治の在り方について、住民アンケートの実施

・救命・救急講習など支えあいを考える講習会の実施

定住促進・情報発信部会

○移住者交流会の開催

引き続き移住者交流会を開催し、地域協議会との親和性を深めながら移住・定住に向けた課題や要望などを探り、必要な施策は行政側に伝えて連携を図るなどして課題等の解決に努力します。

○三和地域協議会のホームページ更新
開設後、2年目をむかえるHPをリニューアルして、アクセス件数のアップを目指します。

○「移住モデル地区」設定

地域住民の意向を踏まえながら「移住モデル地区」(仮称)を、できれば川合、細見、菟原に各1カ所ずつ選定し、当該地域の皆さんと移住者の日常的な交流促進を図って、新旧住民一体化の醸成を目指す基盤づくりに取り組めます。

○工業団地進出企業との交流促進

長田野工業団地アネックス京都三和に進出している企業と交流し、三和ふれあいフェスティバルなど町内で開催の各種イベントへの参加や協力等を呼び掛けます。同時に移住希望者(移住者を含む)の優先雇用等についても理解と協力を求めています。

地域住民活動支援事業

みわ夏まつりなどの地域振興事業や、三和地域の維持存続を図り暮らす人が元気で過ごせるように、様々な活動をする団体や地域を支援します。また、地域のための活動を始めたいという人の相談をうけたり、各種の支援制度などについてアドバイスし、地域住民活動の活発化を図ります。

地域交通再編準備事業

生活基盤部会での2年間の検討を踏まえ、福知山市で進められる市バス等の再編にあわせ、地域協議会が中心となって「交通空白地有償運送事業」を三和地域で広く展開するため、現在の事業者であるNPO丹波みわと協議し

ながら、新たな交通システム確立のための準備を進めます。

また、住民説明会等での合意形成を進めながら、(仮称)有償運送事業準備委員会を立ち上げ、できるだけ早い時期の事業開始を目指します。

小中学校統合準備関連事業

平成31年度を目指して準備が進められる、小中一貫校(仮称)「三和学園」の設置に向けて、本年度から地域住民が参加する準備組織が設置されます。地域協議会からも委員を派遣し、円滑で住民の要望に添った統合が進められるよう積極的に参画します。また、スクールバスの活用や学校と地域の交流強化など、新しい統合校の発足が地域の振興に役立つものとなるよう検討を進めます。

統合による跡地活用については、川合地区を含め各地区で実施される活用検討の取り組みを尊重しつつ、定期的に情報共有を図ることが出来る仕組みを、市役所三和支所と協働して構築します。

広報紙「みわを元気に」の発行

定期的に広報紙を発行し、地域における住民活動情報の発信と協議会活動の理解促進に努めます。

市役所三和支所委任事業

自治基本条例の理念を踏まえ、地域住民団体として期待される役割を果たすとともに、無線放送の録音等、日常的な業務を引き続き担います。

三和ふれあいフェスティバルなどの地域振興イベントを始め、三和を元気にする活動の事務局機能を果たします。また、福知山観光協会三和支部の事務局、三和町自治会長会の事務局を担うとともに、特産品活用活性化事業等を支援します。

その他の事業

その他、三和地域の存続発展と、地域住民の生活改善、福祉向上につながる事業に取り組めます。

三和音頭披露

～うぶやの里フェスタinみわ



三和地域協議会では今年度も、三和音頭をさらに普及させるため、活動します！

今年度最初の舞台は5月3日、「うぶやの里フェスタinみわ」に今年も参加しました。

大勢いらっしゃる観客の方に遠慮して最初小さくなってしまった輪も、踊りながら少しずつ披露されるみなさん。歌い手さんの声もよく通り、2周目は「みなさ

んも入って踊ってくだささい」の声に数人の方が飛び入りで踊ってくださいました。親子連れと一緒に踊ってくださった方もおられ、和やかな雰囲気の中で三和音頭となりました。

笑顔で踊るみなさん

編集後記

ゴールデンウィークも終わりましたが、協議会が事務を行うこともまつり・夏まつり・ふれあいフェスタとイベントの準備が続きます。楽しいことはあつたという間もないですが、日々の地道な準備があつてこそですね。最近それをつくづく感じます。

終わりはばかり考えるのはよくないかも知れないけれど、仕事の後の一杯、みたいな「その後の楽しみ」を糧に、こつこつ地道に取り組んでいこうと思ひます。

(それにしても、コラムは苦しかった：楽しい文章を書くには、こつこつ地道にだけはどうにもならないです：)

各部会の活動方針

地域活力部会

昨年からの子どもや子育て世代向けに「みわこどもまつり」「みわ子育て講演会」を開催しましたが、今年も「みわを子育てしやすいまちに」するための一歩として、こどもまつり以外にも講演会や交流会等を開催し、子育て世代の方に三和は子育てに良いところだと感じてもらえるような活動を行うべく予定しています。

また、「みわふれあいカフェ」の継続と、三和音頭の普及に向けた活動も行います。地域活力部会では、一緒に活動してくださる方を募集しています。意欲的に活動されている方が多く、話し合いも活発です。何かやりたい気持ちのある方はぜひ事務局までご連絡ください。(部会長・松下正美)

生活基盤部会

地域自治の支援をめぐって、過疎・高齢化の課題をめぐって、協議会が中心となって「交通空白地有償運送事業」を三和地域で広く展開するため、現在の事業者であるNPO丹波みわと協議し、

定住促進・情報発信部会

今年度は福知山市の「空き家バンク」への登録件数を増やしたい、と思っています。それには各自治会長さんや住民の皆さんの理解と協力が必要なので、ご理解と協力をお願いします。三和町では65歳以上の占める割合が高まる一方、14歳までの年少人口の割合は低落傾向にあり、少子高齢化は深刻さを増しています。だからこそその移住。移住には住居が必要不可欠。空き家に関する情報をぜひお寄せ下さい。(部会長・和田憲幸)